うちいさんやうちうち

上

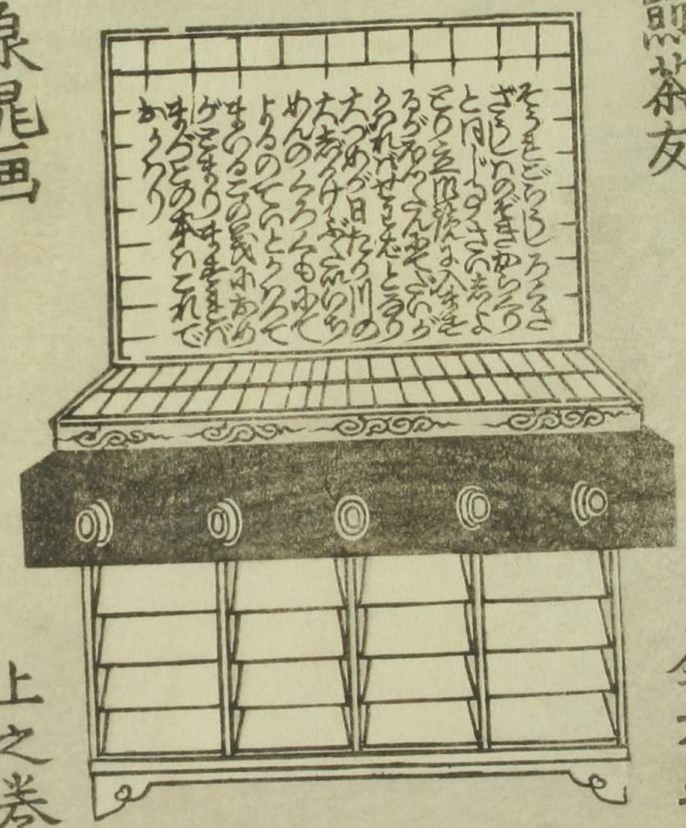
外題

へ13
2378
186

宇治拾遺煎茶友

遠13
2378
186

雪麻呂作　泉晁画



全六号

上之巻

午之春佐野屋板

いにしへ宇治拾遺隆國卿が宇治の暑き残避のひま。往来の人に責き戯れ
ごとを撰ばせて召集め。昔物語をせさせ給ひつゝ語るに随ひ其結城双紙に
書残して予是宇治拾遺物語とそ。世俗の知慮なり。その物語の中に合
ける。「唐卒都婆の血付事」とは二條の院の御宇に筋ふこと有て所
巻の前火茶友と思ひ付こゝろの延竟
移る日数も玉櫛笥
二年なり

墨川亭雪麿作

天保五甲午肇春
彫版新繪冊子
おかぶ堀
四方面五伴太

白子屋むすめ 阿駒
吉原もの思ひ
さのこるぬきをき
藤代乃

三坂を
藤代屋 奇蔵
とうあん
京の
道うは
髪結 才三郎

白子屋の飯焚
丈八
風祭や

たちつく
別の
乃手寺
同丁稚
呉松
白子屋の
下女
於隈

妹の巣子
荘官婢女
於馬

山の

つぎ

五

馬

山

つゞき
左のとおり

六

本文 「白子やのかふろさまようとんぢんハこげんぶつよ
ゆやたれ〳〵とあのやさらまりのあゆひ三どの
をきももうござそこのハイいちゆっこをとを
いてまずとろ〳〵とそこびれまをれと
せんえへまくまゝとそこひんを
ゴまりやまそく
をあまひ
ひとぞう
まのりて
でをとこと
らの
うと
ぞう
あん
まりの
ひゆうぐんて
こさうまずゆらう
とまのりてそこと
うふさのとりけ大入
さんそくもごさうませう」あるわど
ゆんふいひるとそりけーうらゆ大入ーやさーもあごう
おやれらさうらまさむすめのおこあひきーぎりごのとて
いしるゆがゆうごもうとうのうわ〳〵〳〵そうー〳〵ふ
まそあと〳〵あるのとろればさうぐやらるあくるひうら三百
のあひとふ三あぐあをつげてけんぶつーとまるふをの〳〵ぶくは
ゴーもふひうこひれてあせうえんゆう〳〵あるのもえんて せバえん
やい又いうこ みとよう〳〵とのふをあやぢどのへる〳〵ぬこあてこをを

「所ものも又つまあ丁も外よ
けんぶろ
あれとあ
ますさ
あすり
ゑさく」れば

「上段」のふろ
あるへます
さそあと
のこて
さすま
はうとれの
あ

「下段」
よう〳〵ふろーがさあ〳〵ひとら入まっくれて
きたれどもむすめふあまのい母のつる
えんゑ子どものめえ母えんひまだろ
ぢうとろるまでとひろるとにあそうう
まのとうやらぐ〳〵ちゃもろ
どもふれとこれやどのひゆうだんる
ものとでをあのゆさんれんとかりふ
ゆ下女のかふまふとろちのられれ
めくれの丈八まで けいどふつれて下
いひくる母のこだをさ
つるかこ「かつ」さんのいい
でもようにとまでをトあて
をくひさのとくそうわろち
ゴトスバ「ろえのさあもあ
ゴやんさあろきりて
でもこのあのりうーて
ぐ〳〵さんせト小こをそ
ごむるかこあるかをを
あるさあ〳〵ふ
ろっーやるふむす
めこきあでござう
まうかえゆち
のゆうれあこえい
あというふあろうす
れどあくとあでをへご
てことつのそあゆあろう
まをあるみあれさう

「上段」のふろ
あるへます
さそあと
のこて
さすま
はうとれの
あ

「下段」
ゴーもふひうこひれてあせうえんゆう〳〵あるのもえんて せバえん
やい又いうこ みとよう〳〵とのふをあやぢどのへる〳〵ぬこあてこをを
とをそ二こうう
かゆこーーかて
ふさとろかみ
ひあうくれ
ふあああとー
まんぷんこう
からいそて
くこれあみくー
ゴーうの男ふこあ
いあるうとこうせ
のそうとする不と男ふまみ
るとき三もふ泥なのこあて
たがひふをあうす目ふこんを
ク。ひすをころを下女のたるあ
それとんとるやきのちクあい
ク。ゴ三のをとあうころ
ごあもあれさ見どいひとるとあ
ぐあるうでひとりひをとちまう
ぜてのアるちいひをりやくありくらちて
まをあるみあれさう
まるいるあいさんをそうくらふををーめ「つぎへ」

元祖
極彩色
図怪談
戯場本説
馬若
大入叶
定席

つゞき
小平

清浄精製 白妙

一包 代三十二銅

この白妙は、いろは、ほ、と、の、ち、り、ぬ、るを、わ、か、よ、たれ、そ、つ、ね、な、らむ、うゐの、おく、やま、けふ、こえて、あさき、ゆめみし、ゑひもせず、

清浄精製白妙

本家調合所 書肆 江戸中橋廣小路 北林堂西宮跡

雪作泉画佐屋
麿　晁　埜版

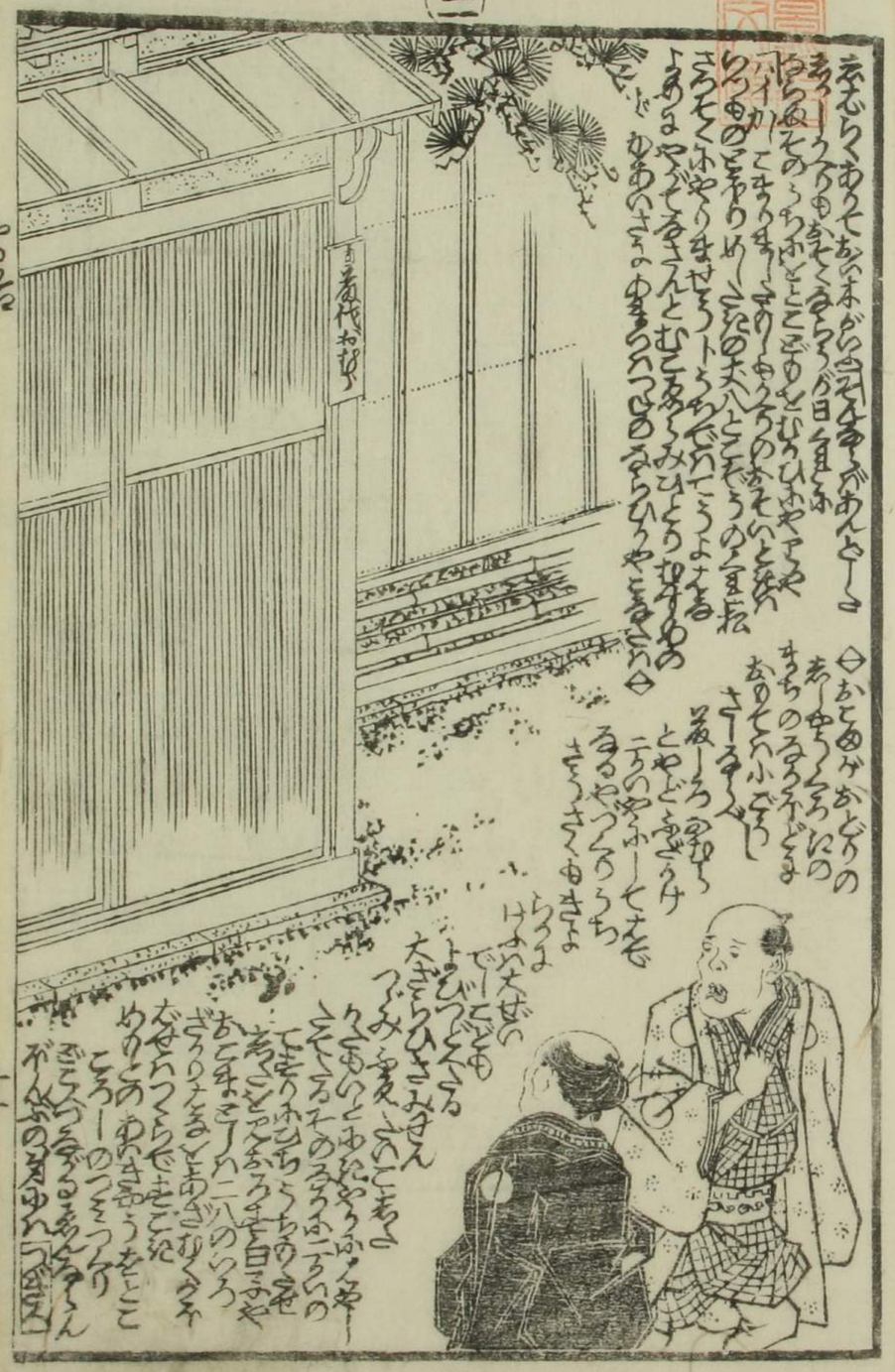
中

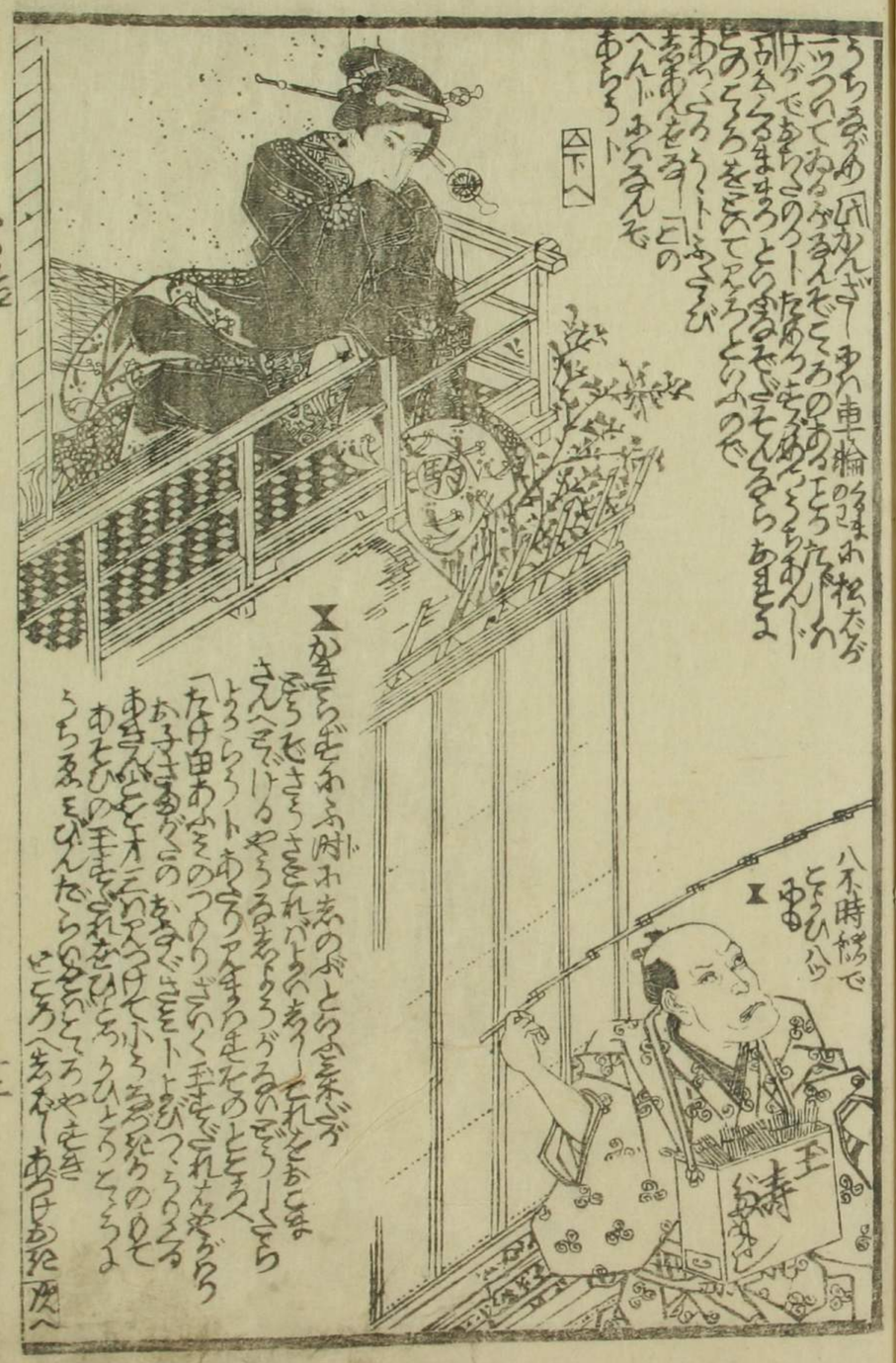
雪磨
作

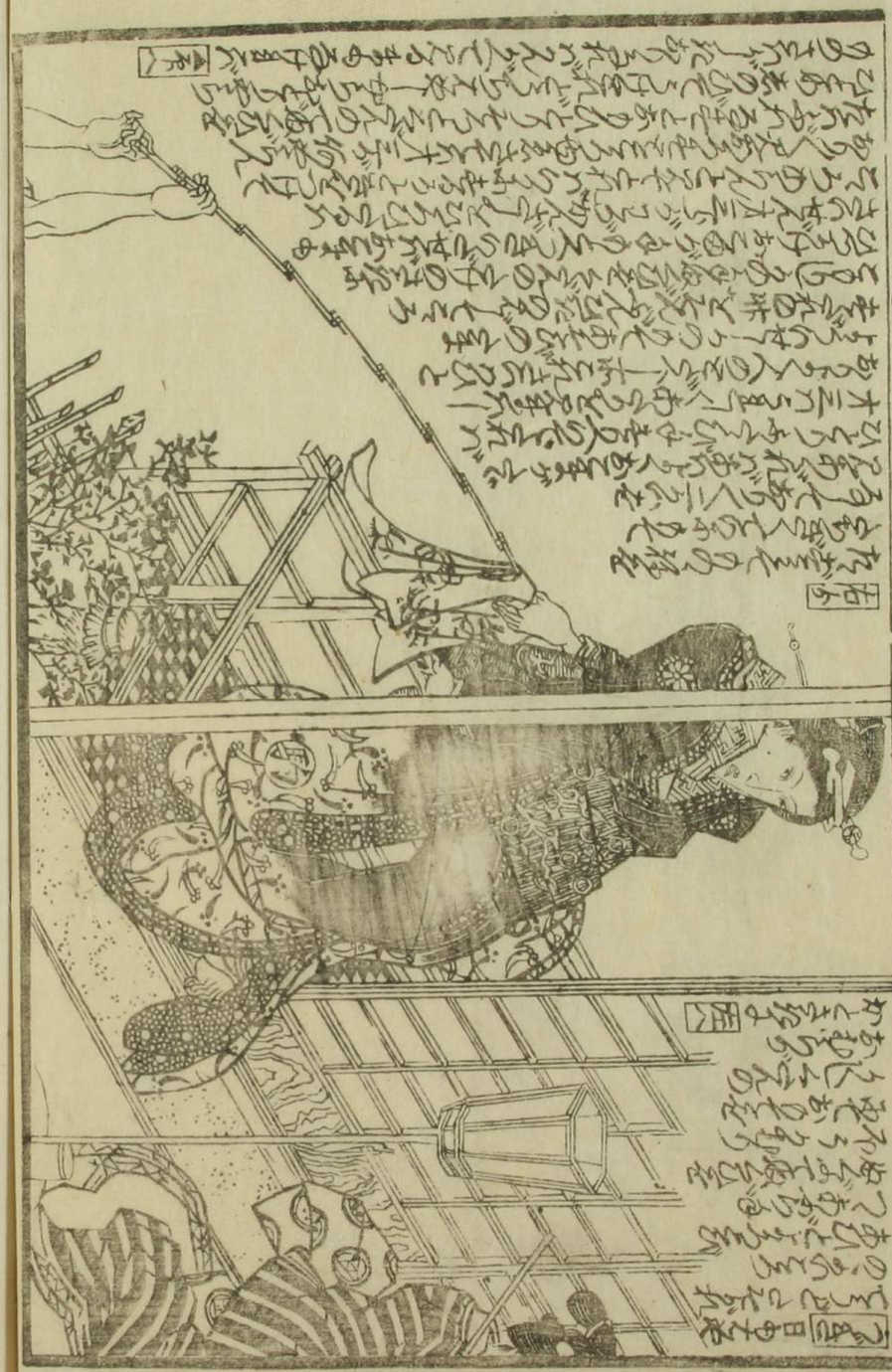
京
晨画

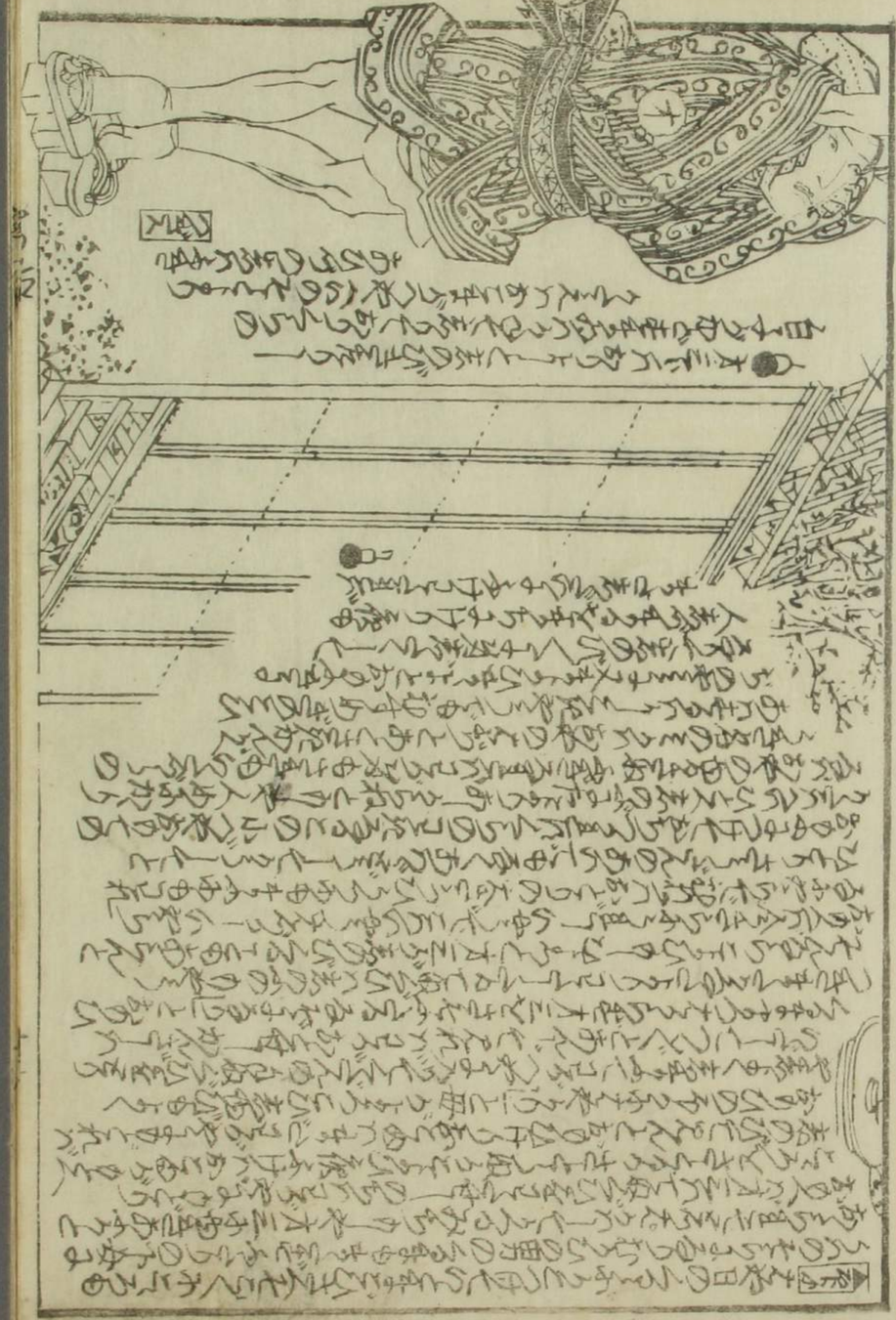
中之巻

作者や板



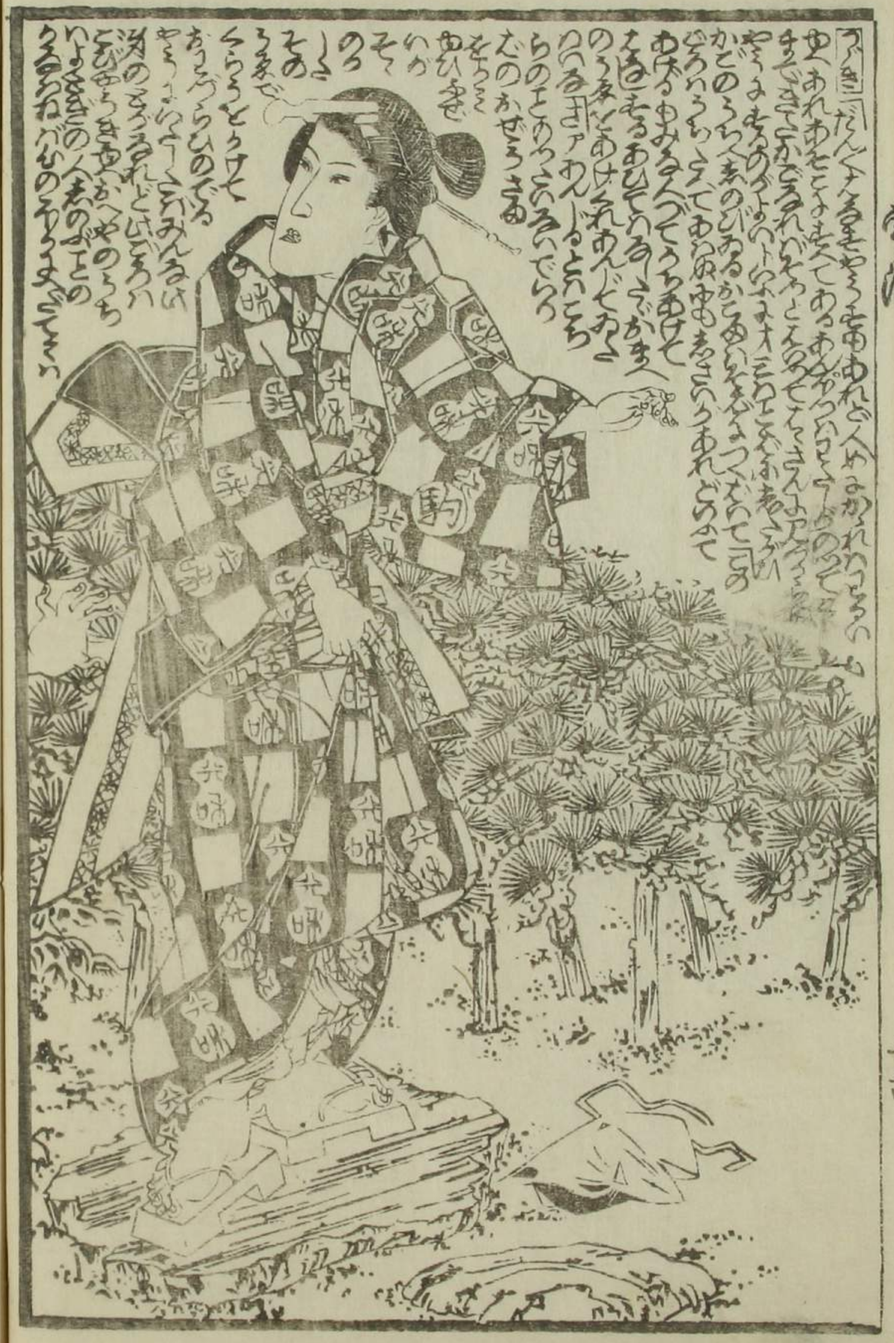

八木時代で
とうひ八分
玉
時





まのねんくらべ
上分

まのねんくらべ
下へ



寐小便の大奇藥　一包代錢三百銅

此御茶はいろ〳〵年久敷疝癪そも大人小兒男女ともかぎらず下包そ澤山の奇とゆいたん妙とゆいひん老あて諸人をとこ用ゆる不人も治せんといふとの事一倍諸人のきもあふ海を世よむもろ海内の男女祈小便すてくるしむものをもつて世中に美味なるものとなつてくるうつりきく事世間にすれば世の人をすくはんべし

本家調合所　江戸中橋廣小路町　青物屋　北林堂　西宮弥兵衛

そろはんぜのうちぎり

下

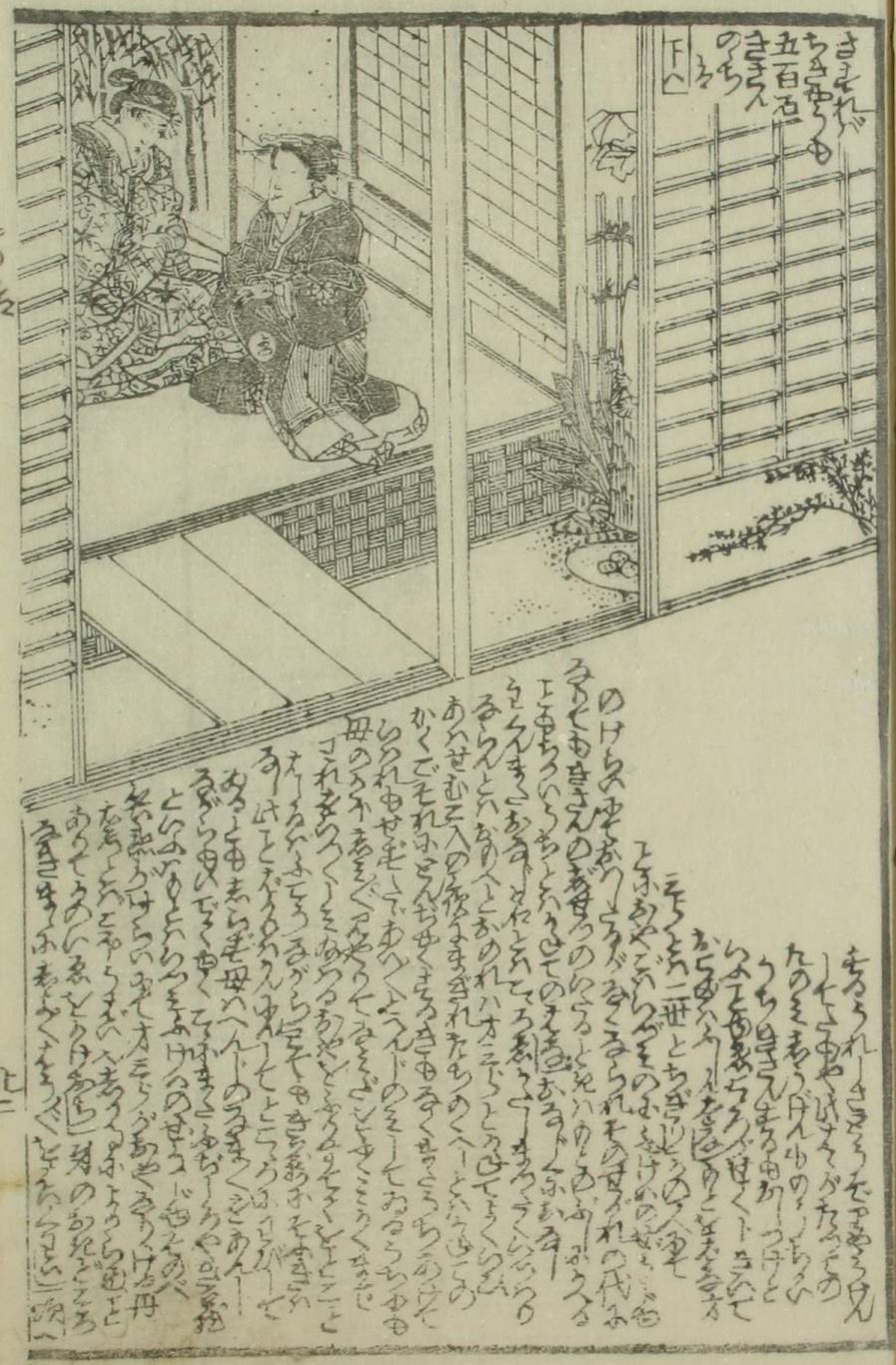
宇治拾遺 下卷

煎茶日〻起松風
醒覚人間仙路通
要識盧仝真妙旨
傾囊先入箇錢筒

雪磨作
泉晁画

甲午孟春
喜雀堂梓

つぎき　さあひいとどうぐやまこてはやうちぢがさこのてやらこのごろのおちろのくたりのるいことものがかつぎもよのきらーぶやそうるもうでさるもきつくあんーでそこざるもあらろものをそろるうごのうぶをるさるもうらいくでらこごふうをちろうとらくごのてんやうようくるろそくもそれゆつけそもこのぶろうくらさるつてあらくむこのことをるさいさろくさらやれどあのきうぶろとらふひとのいのとうをそるオニこうとそらのごこのふひこのこのりふけいのやうーもそのべ公湯ふやをとのべんのけらのでうぶうのかちをでいとまのぶらきのろくんらうゆんまくれとも紙んけんあるそめくさるきのとのぶくるうとあのさ



もろうれーさそうそであろうんしそこもあくはさそがちふこのたのまもろうげんゆものっちちふうちはきこんまろゆかーつけとらんとあまろうんがはくーこんーとのいろ

そこんこ一世とちぎりとろのっゆそこふあやくこいらぶこのふるけのおるこ

のけらゆゆまりとろがきくるられもの世ふれの代ふそこもきこんのまもろのふるとそれいのとあふーふまるーこもまろいうちちとふろひこのまるこおるーふまるーとこもちろいうちちとふろひこのまるこおるーふまるーこんまこふるーそれとこてろまろうこーまろうくふいらりるらんとふまりくとふのれいオこちっとうひこてくふいあいせむこ入のゆるまるくれたものくへーとふいひこのかくこそれふとんちせくまろきゆるくまくまろちこのけそらられゆせもこーてあくくとうんードのこーしておるうちゆゆ母のろふまるくるくるくるそくるくるこくこくちここれまのくくーこゆるるゆくるくるくる

財

隈
丈

奇

九成寺
九山
八幡山

和田浦
カ子岩
トサ

五

ヒイノ
ごサキ
トサ
内田浦
内ヶ浦

墨川亭雪麿作

吉日鳥亭泉晁画

天保五甲午年孟春新刊

墨川亭雪麿作
傾城三國志四編 八冊
香蝶樓國貞画

墨川亭雪麿作
松若 梅若 櫻媛 繪兄弟對白無垢 六冊
歌川國芳画

阿組 物郎 洗鹿子所縁戸染 四冊
作

梅松論竹取物語 八冊
貞斎泉晁画

今昔倭說苑 四冊
貞斎泉晁画

能優 似顔 新樂屋通 中形袋入
繪本
香蝶樓國貞画

西國 奇談 月夜神樂三編 六冊
五柳亭徳外作
溪斎英泉画

東千代帝 繪切御進物御箱命

宇治拾遺前太夫 六冊
墨川亭雪麿作
貞斎泉晁画

地本 繪草帝 扇 芝神明前三嶋町角
問屋 吉鶴堂

美艶仙女香 美女香 坂本氏製
佐野屋喜兵衛板